

「鹿踊剣舞の伝承活動」 評価規準

	観 点	目指す児童の姿	4年生・5年生	6年生
関心意欲態度	①興味・関心を持ち、伝承しようとする態度	鹿踊剣舞に関心を持ち、楽しんで踊りたいと願う子供	・疑問を見付け、解決しようとしている	・新たな問題を見付け、解決しようとする
	②学び続ける意志	踊りをしっかり覚え、伝承していこうとする子供	・6年生の師匠から踊りを習い、最後までしっかり覚えようとしている	・保存会の方から指導を受け、正確な踊りを覚えようとしている ・下級生に自分たちが覚えた技と心をしっかり伝えようとしている
	③自分らしさの表現	自分の良さを生かして楽しく踊ろうとする子供	・正しく踊ろうとしている ・自分の良さを見付け踊ろうとしている	・自分の良さを生かし楽しんで踊ろうとしている ・下級生の良さを見付けようとしている
学び方・考え方	①自分で判断し行動する力	意欲的に活動する子供	・自分から進んで活動に取り組む	・場に応じて状況を判断し、行動する ・根気強く取り組み、実践する
	②人と人との関係を高める力	場に応じた話し方ができ、相手を思いやり、その良さを見付け活動する子供	・師匠(6社)に対して場に応じた話し方をする ・友達と協力して活動する ・師匠に感謝の気持ちをもつ	・保存会の方に対して場に応じた話し方をする ・友達や下級生の思いや考えを大切にしながら協力して活動する ・保存会の方に感謝の気持ちをもつ
	③課題を見付ける力	身の回り的人、自然、社会に興味・関心を持ち、自分の課題を見付ける子供	・自分の得意なところ苦手なところを見付け課題とする ・「技の伝承」だけでなく「心の伝承」(あいさつする心、道具を大切に作る心、楽しんで踊る心)も課題とする	・自分の得意なところ苦手なところを見付け課題とする ・下級生の課題を自分の課題とする ・「技の伝承」だけでなく「心の伝承」(あいさつする心、道具を大切に作る心、楽しんで踊る心など)も課題とする
	④課題を解決する力	自分(下級生)にあった課題解決の方法を考える子供	・めあてをもって練習する ・練習方法を考える(振り返りカード)(友達との教え合い)(ビデオ撮影)(鏡の利用)	・自分にあつた練習方法を考える ・下級生にあつた練習方法を考える
	⑤表現する力	自分の良さを生かして楽しく踊る子供	・唄やリズムを覚え、正しく踊る ・自分の良さを見付け踊ろうとしている	・大きな舞台で堂々と誇りをもって踊る ・自分の良さを生かし楽しんで踊る ・下級生の良さを見付け、良い点をほめる
生かし方	生活に生かす力	伝承活動で学んだことを自分の生活に生かし、実践する子供	・ふるさと福岡に対し誇りをもつ ・鹿踊剣舞に対し誇りを持ち伝承していこうとする気持ちをもつ ・上級生とこれまで以上に仲良しになり、信頼関係を深める ・伝承活動で学んだ「心」を日常生活でも生かそうとする 「あいさつする心」 「上級生をを尊敬する心」 「最後までがんばる心」 「ものを大切にする心」 「協力する心」など	・ふるさと福岡に対し誇りをもつ ・鹿踊剣舞に対して誇りを持ち、下級生にしっかり伝えていこうとする気持ちをもつ ・下級生とこれまで以上に仲良くなり、信頼関係を深める ・伝承活動で学んだ「心」を日常生活に生かそうとする 「あいさつする心」 「お年寄りを尊敬する心」 「最後までがんばる心」 「ものを大切にする心」 「協力する心」 「思いやりの心」など

